

2018年8月22日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、近視性脈絡膜新生血管で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

近視性脈絡膜新生血管に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 講師（職名） 住岡 孝吉

3. 研究の目的

近視性脈絡膜新生血管で治療された患者様の視機能、中心窩網膜厚、治療前後における視機能の変化を比較検討することにより、近視性脈絡膜新生血管の治療後の視機能予後の傾向を解明することを目的としています。この結果は治療前後の患者様への説明に有意義であると予想され、臨床上有用な研究と考えます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

50歳未満の近視性脈絡膜新生血管の患者様で、2012年4月1日から2018年3月31日までの期間中に、抗VEGF療法を受け、治療前後の検査を受けられた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、視力、眼底検査、OCT検査、に関する情報です。

(3) 方法

評価の観点として、治療前の視機能・中心窩網膜厚の傾向と治療後の視機能予後の関連性について検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学眼科学講座 担当医師 臼井 佑太

TEL : 073-441-0649 FAX : 073-448-1991

E-mail : yuta-u@wakayama-med.ac.jp